

に0に近くなれば、このような最適消費に近づくことは知られているが、この状態の場合は、 α にかかわらず、近視眼的な消費行動が最適となるのである。

悪い財(Bads)の消費については、 α が0に近い近視眼的な消費者を仮定することが多いが、上記の理論付けによって、近視眼的ではないものでも、近視眼的な消費を行う可能性があることがいえる。

次に、(3)式の場合で濫用・中断を繰り返す最適解になる場合を考察する。これについては次の3つの場合が考えられる。ひとつは、 $C^*(A,W)$ が A や W に関して単調でない場合である。そうではない場合、つまり A,W について単調な場合を考えると、2番目には効用関数 $v(C,A,W)$ が t について一定でない場合が考えられる。テイストが時間によって変化に富む場合には、濫用・中断を繰り返す解の存在が得られる。ただし、テイストに関しては時間に関する単調性もしくは2次形式²を考えると自然であり、その場合は濫用・中断を繰り返す解の存在が得られにくいといえる。もうひとつは、2番目と同様に $C^*(A,W)$ が A や W に単調ではあるが、 $v(\cdot)$ に前期の消費 C_{t-1} や前々期の消費 C_{t-2} など、蓄積量のみでなく過去の消費量が含まれる場合が考えられる。特にこの場合では、直近の消費量に依存するような効用関数

$$v(C_t, C_{t-1}, C_{t-2}, A, W)$$

を考えると禁断症状をモデル化することができる。 $v(\cdot)$ の形状によっては、濫用・中断する解が存在する可能性が考えられ、現実的にももっとも近いともいえるが、具体的な形は検討中である。

他の問題として、若年層が喫煙するか否かの決定についてどのように考えるかも、大きな問題である。(1)から(3)までのモデルは基本的なものであり、まだ現実的ではない。そこで3点ほど付け加えることができる。ひとつは健康資本 W についての自己評価から解釈することが考えられる。今まではこれを所与・既知として解いてきたが、実際は未知であり、 W を確率変数と考えることができる。もうひとつは、テイストの安定性の問題から解釈することも可能である。すなわち、喫煙開始以前に期待した $v(\cdot)$ 関数と、喫煙開始直後の $v(\cdot)$ 関数が異なる可能性である。これは、上記の濫用・中断解同様に $v(C_t, C_{t-1}, C_{t-2}, A, W)$ を仮定して、

$v(C_t, C_{t-1}, C_{t-2}, 0, W)$ の形を吟味することによって、計算できる可能性がある。もうひとつは、

好奇心である。若年ほど好奇心が旺盛であるということ表現するならば、 t 期に確率 p_t でタバコを試し、そのとき摂取するニコチンの量を $g_t(C)$ とするといった、ゲーム理論でいうところのmutationの概念を取り入れることが考えられる。好奇心は年をとるごとに薄れて

² かつて日本では30歳代40歳代を働き盛りといったが、これと同様に、タバコについてもある時点で「吸い盛り」があると考えられる。

くるものと仮定するならば、確率の系列を $p_t > p_{t+1} > \dots$ と仮定し、このとき、 $\{p_t\}, \{g_t(C)\}$ の組み合わせには依存するが、若年層の喫煙についても、経済合理性によって説明できる可能性があるといえよう。

5. 引用文献

- Becker, G.S, and Murphy K.M. "A Theory of rational addiction" *Journal of Political Economy*, 1988; 96(2): 675-700
- Chaloupka, F., "Rational Addictive Behavior and Cigarette Smoking" *Journal of Political Economy*, 1991; 99(4):722-742
- Orphanides, A., Zervos, D., "Rational Addiction with Learning and Regret", *Journal of Political Economy*, 1995; 103(4):739-758
- Suranovic, S., Goldfarb, B. and Leonard, T. , "An Economic Theory of Cigarette Addiction", *Journal of Health Economics*, 1999;18(1):1-29
- Viscusi, W. K., "Do Smokers Underestimate Risks?", *Journal of Political Economy*, 1990; 98(6):1253-1269
- 小椋正立・鈴木亘・角田保「喫煙習慣に関する経済学分析：合理的依存症モデル神話とその再検討」田近栄治・佐藤主光編『医療と介護の世代間格差』第9章、東洋経済新報社、2005年。

厚生労働科学研究費補助金（政策科学推進研究事業）
「生活習慣と健康、医療消費に関するミクロ計量分析」
（分担）研究報告書

「介護者の生活習慣および健康状態に関する調査」概要

分担研究者 鈴木 亘 東京学芸大学教育学部助教授
分担研究者 泉田信行 国立社会保障・人口問題研究所室長
主任研究者 小椋正立 法政大学大学院エイジング総合研究所所長

研究要旨

生活習慣を悪化させる可能性の高い対象として、要介護者の介護をしている人々を選び、その健康状況、生活習慣の調査を行った。また、この冬（2005 年末から 2006 年はじめ）は、インフルエンザの流行した時期であったため、特にそれに対する対策、予防行動についても調査した。調査方法は、社会調査会社の介護モニターサンプルであり、インターネットを通じて調査を実施した。4000 サンプルのうち 2714 サンプルからの回答を得た。得られた主な知見は下記の通り。

インフルエンザについては、全体の 15%程度の介護世帯が、家族構成員のうち少なくとも一人が罹患した。しかしながら、要介護者はそのうち罹患率がもっとも低く 2.4%に過ぎず、介護者及び介護者の子供がそれぞれ 6%程度とやや高い。ワクチンの摂取率は、要介護者で 48.5%と非常に高いのに対して、介護者については 26.2%とやや低い状況である。来年の予防接種を受ける予定は、必ず受ける・受けると思うという割合が、介護者で 3 割、要介護者が 5 割強と今年と同程度であるが、今年摂取した人々にサンプルを限ると、介護者が 9 割、要介護者が 95%と非常に高い。要介護世帯への予防接種の定着・普及には、予防接種を受ける習慣の無い層への喚起が必要である。

介護者の健康状態は、自己報告の健康状況はさほど悪いほうに偏っているわけではないが、自覚症状があると答えた割合が高く、特に、肩こり、腰痛、体がだるい、頭痛がするといった症状の割合が高いことがわかった。持病についても、肩こり、腰痛の割合が高い。睡眠については、睡眠時間が短い 43.3%、眠れないことがある 26.7%、眠りが浅い 29.6%と睡眠障害をあげる割合が高く、何らかの睡眠障害を抱えている状況がわかった。一方で、生活習慣としては、女性が多いこともあり、飲酒、喫煙の率はそれほど高いわけではなく、また、生活習慣も栄養状態や食事、運動などそれほど通常と変わらない。むしろ、手洗いの励行 38.4%、うがいの励行 50.0%と感染症の予防行動が目立っている。したがって、予想に反し、介護者の生活習慣の悪化が著しいというわけではなかった。ただし、介護負担感という精神・身体の両面のストレスが重圧になっている状況は強く伺えた。

A.研究目的

生活習慣病は個人が食習慣や運動習慣などについて長期的な観点からのコントロールを怠ることにより発症する、モラルハザードの帰結と考えられがちである。しかしながら、労働時間の超過や親等の要介護状態に対して連続的に介護する必要性があるなど生活習慣を維持するための時間を確保するためのコストが非常に高くなる結果の場合も考えられる。労働時間の超過については2005年7月に健康保険組合に調査を行い、分析を行っているところであるが、超過労働時間の増大とともに統計的に有意に生活習慣病発症率が高まる可能性が示唆されている。そこで、今回介護者の生活習慣および健康状態に関するアンケート調査により自宅介護と介護者の健康習慣について検討することとする。また、この調査時期に起きたインフルエンザの流行に対して、要介護者・介護者がどのような行動をとったかについて調べた。

B.研究方法

インターネット・アンケート調査を実施した。調査対象は、(株)インテージに登録された全国の介護モニターであり、要介護者と同居している16歳以上の男女4000人に発信し、2714人から回答を得た。実施時期は2006年3月9日(木)～3月13日(月)である。

C.研究結果

インフルエンザについては、この冬に全体の15%程度の世帯が、家族のうち誰かが罹患している状況である。要介護者はそのうち罹患率をもっとも低く、2.4%であり、介護者及び介護者の子供がそれぞれ6%程度と高い。

ワクチンの摂取率は、要介護者で48.5%と非常に高いのに対して、介護者については26.2%とやや低いことがわかる。来年の予防接種を受ける予定は、必ず受ける・受けると思うという割合が、介護者で3割、要介護者が5割強と今年と同程度であるが、今年摂取した人々にサンプルを限ると、介護者が9割、要介護者が95%と非常に高い。要介護世帯への予防接種の普及には、予防接種を受ける習慣の無い層への喚起が必要である。

介護者の健康状態は、自己報告の健康状況はさほど悪いほうに偏っているわけではないが、自覚症状の各割合がやや高い。特に、肩こり、腰痛、体がだるい、頭痛がするといった症状の割合が高い。持病についても、肩こり、腰痛の割合が高い。睡眠については、睡眠時間が短い43.3%、眠れないことがある26.7%、眠りが浅い29.6%と睡眠障害をあげる割合が高い。一方で、生活習慣としては、女性が多いこともあり、飲酒、喫煙の率はそれほど高いわけではない。また、生活習慣も栄養状態や食事、運動などそれほど通常と変わらない。さらに、手洗いの励行38.4%、うがいの励行50.0%と感染症の予防行動が目立つ。ストレスの解消法としては、会話や趣味の割合が高い。

D.考察

生活習慣が悪化する対象として、介護者の調査を行ったが、思いに反してそれほど生活習慣が悪化しているというわけではない。むしろ、規則正しさ、食事のバランス、感染症対策などは、要介護者と同居しているためか、通常よりも望ましいほどである。ただ、睡眠障害や腰痛・肩こり、介護負担感によるスト

レスなどが重圧となっている状況は見て取れる。インフルエンザによる死亡率が高い高齢者、特に要介護者への対策としては、介護者に対するワクチンの普及、特に今年度受けていない人々に対する注意の喚起が必要である。

E.結論

そのほか、関連した質問項目で得られた知見は以下の通り。介護サービスの利用と意識では、質や量についての不満が大きいのがショートステイ及び訪問・通所リハビリであり、それぞれ19%、14%が不満に感じている。それに関連して、実際の利用回数と希望する利用回数のギャップが大きいものもこの2つである（希望に対して実際の利用回数が少ない）。ショートステイやリハビリについては、希望を満たす供給が行われていない可能性が

ある

介護者本人の介護時間については、これまで行われてきた調査に比べて低下している。特に介護時間が1日12時間を越えるような過重な介護は5-6%に過ぎない。また、配偶者や家族の協力も、これまでの調査に比べて多くなっている。介護保険の普及・定着とともに要介護世帯の行動が変化してきた可能性が指摘できる。

F.研究発表

特になし

G.知的所有権の取得状況

特になし

資料 鈴木 亘（東京学芸大学）

泉田 信行（国立社会保障・人口問題研究所）

小椋 正立（法政大学経済学部）

「介護者の生活習慣および健康状態に関する調査」概要

「介護者の生活習慣および健康状態に関する調査」概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

「生活習慣病は個人が食習慣や運動習慣などについて長期的な観点からのコントロールを怠ることにより発症する、モラルハザードの帰結と考えられがちである。しかしながら、労働時間の超過や親等の要介護状態に対して連続的に介護する必要性があるなど生活習慣を維持するための時間を確保するためのコストが非常に高くなる結果の場合も考えられる。労働時間の超過については 2005 年 7 月に健康保険組合に調査を行い、分析を行っているところであるが、超過労働時間の増大とともに統計的に有意に生活習慣病発症率が高まる可能性が示唆されている。そこで、今回介護者の生活習慣および健康状態に関するアンケート調査により自宅介護と介護者の健康習慣について検討することとする。」

2. 調査方法

インターネット・アンケート調査

3. 調査対象

- ・(株) インテージに登録された全国の介護モニター、要介護者と同居している 16 歳以上の男女 4000 人に発信し、2714 人から回答。
- ・実施時期 2006 年 3 月 9 日(木) ~3 月 13 日(月)

4. 調査項目

- (1) インフルエンザの予防行動
- (2) 介護者の生活習慣・健康状態
- (3) 介護者の介護負担感
- (4) 要介護者の状態

II 調査結果

(1) インフルエンザに対する予防行動

- ・ 2005 年末から 2006 年はじめにかけては、インフルエンザの流行した時期であった。この時期に、要介護者及び介護者がどのような行動をとったのか、調査を行った。まず、Q5 では、実際にインフルエンザにかかった家族について尋ねているが、家族で誰もかからなかった世帯は 85%程度であり、逆に言えば 15%程度は家族のうち誰かがかかっていたことになる。もっとも多い割合は、介護者及び介護者の子供でありそれぞれ 6%程度である。要介護者については、インフルエンザワクチンの摂取率が高いためか、2.4%と低くなっている。
- ・ Q6 の結果をみると、ワクチンの摂取率は、要介護者で 48.5%と非常に高いのに対して、介護者については 26.2%とやや低いことがわかる。また、Q7 の時期についてみても、要介護者は 6 割以上が 11 月以前に受けていることがわかる。
- ・ 摂取を受けた場所は、病院や診療所が多いことは予想通りであるが、要介護者については、介護施設や往診によるものの割合も多い (Q8)。
- ・ 来年の予防接種を受ける予定は、必ず受ける・受けると思うという割合が、介護者で 3 割、要介護者が 5 割強とやや低いが、今年摂取した人々にサンプルを限ると、介護者が 9 割、要介護者が 95%と非常に高い。要介護世帯への予防接種の普及には、予防接種を受ける習慣の無い層への喚起が必要である (Q9)。

Q5 あなたとご家族の中で、この冬にインフルエンザにかかった方はいましたか (いますか)。インフルエンザにかかったすべての方をお答えください。

(回答はいくつでも) ※かかっている場合には「誰もかかっている」をお答えください。

	サンプル数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
要介護者の方	2714	0.0243183	0.154064	0	1
あなたご自身	2714	0.0644805	0.2456521	0	1
あなたの配偶者	2714	0.0261606	0.1596423	0	1
あなたのお子様	2714	0.0622697	0.2416893	0	1
その他の同居のご家族	2714	0.0261606	0.1596423	0	1
誰もかかっている	2714	0.8537214	0.3534504	0	1

Q1 あなたとご家族、要介護者の方は、この冬にインフルエンザの予防接種を受けましたか。予防接種を受けたすべての方をお答えください。

(回答はいくつでも)

	サンプル数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
要介護者の方	2714	0.4852616	0.4998748	0	1
あなたご自身	2714	0.2623434	0.4399894	0	1
あなたの配偶者	2714	0.1326455	0.3392538	0	1
あなたのお子様	2714	0.1621223	0.3686309	0	1
その他の同居のご家族	2714	0.1941783	0.3956397	0	1
誰も受けていない	2714	0.3610906	0.4804053	0	1

Q1 で、「あなたまたは要介護者の方が、この冬にインフルエンザの予防接種を受けた」とお答えになった方にお伺いします。

Q2 いつごろ予防接種を受けましたか。

※2 回以上接種された方や要介護者が複数いらっしゃる方は、それぞれ最も早く接種した時期についてお答えください。

	<あなた> (回答は1つ)		<要介護者> (回答は1つ)	
	サンプル	割合 (%)	サンプル	割合 (%)
昨年11月以前	327	45.93	771	58.54
昨年12月	351	49.3	505	38.34
今年1月	27	3.79	34	2.58
今年2月	7	0.98	7	0.53
Total	712	100	1317	100

Q3 どこで予防接種を受けましたか。

※2 回以上接種された方や要介護者が複数いらっしゃる方は、それぞれ最も早く接種した場所についてお答えください。

	<あなた> (回答は1つ)		<要介護者> (回答は1つ)	
	サンプル	割合 (%)	サンプル	割合 (%)
診療所	223	31.32	263	19.97
病院	434	60.96	770	58.47
職場	34	4.78		
保健所			2	0.15
介護施設	7	0.98	156	11.85
往診で	11	1.54	124	9.42
その他	3	0.42	2	0.15
Total	712	100	1,317	100

Q4 来年、あなた及び要介護者の方は、予防接種を受けるご予定ですか。

	<あなた> (回答は1つ)		<要介護者> (回答は1つ)	
	サンプル	割合 (%)	サンプル	割合 (%)
必ず受ける	389	14.33	852	31.39
受けると思う	459	16.91	683	25.17
わからない	739	27.23	528	19.45
受けないと思う	667	24.58	393	14.48
受けない	460	16.95	258	9.51
Total	2,714	100	2,714	100

今年受けた人に限る<あなた>

	サンプル	割合 (%)
必ず受ける	353	49.58
受けると思う	279	39.19
わからない	67	9.41
受けないと思う	10	1.4
受けない	3	0.42
Total	712	100

今年受けた人に限る<要介護者>

	サンプル	割合(%)
必ず受ける	770	58.47
受けると思う	467	35.46
わからない	65	4.94
受けないと思う	8	0.61
受けない	7	0.53
Total	1,317	100

(2) 介護者の健康、生活習慣

- ・ 介護者の健康状態は、自己報告の健康状況はさほど悪いほうに偏っているわけではないが、自覚症状があると答えた割合が高く、特に、肩こり、腰痛、体がだるい、頭痛がするといった症状の割合が高い。
- ・ 持病についても、肩こり、腰痛の割合が高い。
- ・ 睡眠については、睡眠時間が短い 43.3%、眠れないことがある 26.7%、眠りが浅い 29.6%と睡眠障害をあげる割合が高い。一方で、生活習慣としては、女性が多いこともあり、飲酒、喫煙の率はそれほど高いわけではない。また、生活習慣も栄養状態や食事、運動などそれほど通常と変わらない。さらに、手洗いの励行 38.4%、うがいの励行 50.0%と感染症の予防行動が目立つ。ストレスの解消法としては、会話や趣味の割合が高い。

Q35 あなたの現在の健康状態はいかがですか。以下の中からあてはまるものを1つだけお答えください。

(回答は1つ)

	サンプル	割合(%)
よい	383	14.11
まあよい	614	22.62
ふつう	1,099	40.49
あまりよくない	538	19.82
よくない	80	2.95
Total	2,714	100

Q36 あなたには以下の自覚症状がありますか、あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

	サンプル数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
肩こり	2714	0.6013265	0.4897155	0	1
腰痛	2714	0.5077377	0.5000323	0	1
手足の関節が痛む	2714	0.1790715	0.3834828	0	1
目のかすみ	2714	0.2995578	0.4581488	0	1
体がだるい	2714	0.3651437	0.4815592	0	1
かゆみ(湿疹・水虫など)	2714	0.1812822	0.3853228	0	1
冷え性	2714	0.2752395	0.4467172	0	1
せきやたんが出る	2714	0.1731761	0.3784692	0	1
手足のしびれ	2714	0.1355932	0.3424192	0	1
頭痛	2714	0.2903464	0.4540058	0	1
胃のもたれ・胸やけ	2714	0.1997052	0.3998524	0	1
物忘れする	2714	0.1960206	0.3970575	0	1
その他の自覚症状	2714	0.077745	0.2678193	0	1
自覚症状はない	2714	0.105748	0.3075714	0	1

Q37 あなたには以下の持病がありますか、あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

	サンプル数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
高血圧・動脈硬化などの血圧・血管関係の持病	2714	0.1127487	0.3163437	0	1
狭心症などの心臓関連の持病	2714	0.0338983	0.1810008	0	1
糖尿病などの糖尿関連の持病	2714	0.0471629	0.2120261	0	1
脳梗塞・くも膜下出血などの脳関連の持病	2714	0.0106853	0.1028351	0	1
慢性胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍などの消化器系関連の持病	2714	0.0759027	0.2648912	0	1
ぜん息、慢性気管支炎などの呼吸器系関連の持病	2714	0.0773766	0.2672372	0	1
腰痛や肩こり・関節炎・リウマチなどの持病	2714	0.2663965	0.4421554	0	1
緑内障・白内障などの眼関係の持病	2714	0.0217391	0.1458574	0	1
腎臓病、腎不全などのじん臓関係の持病	2714	0.0125276	0.1112441	0	1
いぼ痔、切れ痔などの肛門系の持病	2714	0.0884304	0.2839721	0	1
白内障などの眼関係の持病	2714	0.0143699	0.1190322	0	1
パーキンソン病、アルツハイマー病などの神経系の持病	2714	0.0025792	0.0507298	0	1
うつ病などの精神障害	2714	0.0740604	0.2619175	0	1
この中には1つもない	2714	0.4837878	0.4998292	0	1

Q38 先週1週間であなたがお酒を飲んだ日は何日ありましたか。

(回答は1つ) ※飲酒習慣がない方は「飲まなかった」をお選びください。

	サンプル	割合(%)
1日	360	13.26
2日	259	9.54
3日	213	7.85
4日	89	3.28
5日	129	4.75
6日	112	4.13
7日	336	12.38
飲まなかった	1,216	44.8
Total	2,714	100

Q39 昨日、タバコを何本吸いましたか。

(回答は1つ) ※喫煙習慣がない方は「0本」をお選びください。

0本	1,862	68.61
1	14	0.52
2	20	0.74
3	15	0.55
4	13	0.48
5	37	1.36
6	8	0.29
7	13	0.48
8	8	0.29
9	5	0.18
10	95	3.5
11	2	0.07
12	18	0.66
13	5	0.18
14	8	0.29
15	84	3.1
16	11	0.41
17	12	0.44
18	13	0.48
19	2	0.07
20	272	10.02
21	4	0.15
22	4	0.15
23	7	0.26
24	7	0.26
25	40	1.47
26	2	0.07
27	2	0.07
28	6	0.22
29	61	2.25
31	1	0.04
32	2	0.07
34	6	0.22
36	1	0.04
37	1	0.04
38	1	0.04
39	2	0.07
40以上	50	1.84
Total	2,714	100

Q40 あなたの普段の睡眠について、あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

	サンプル数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
睡眠時間が短い	2714	0.4329403	0.4955739	0	1
眠れないことがある	2714	0.2671334	0.4425441	0	1
頻繁に要介護者に起こされる	2714	0.0681651	0.2520754	0	1
眠りが浅い	2714	0.2962417	0.456683	0	1
この中には1つもない	2714	0.2855564	0.4517622	0	1

Q41 あなたが現在、心がけておこなっている生活習慣について、あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

	サンプル数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
定期的な運動	2714	0.2726603	0.4454096	0	1
規則正しい食事	2714	0.3710391	0.4831719	0	1
栄養バランスの取れた食事	2714	0.403832	0.490755	0	1
外出時にマスクをする	2714	0.0851142	0.279103	0	1
外出からの帰宅時にうがいをする	2714	0.3843036	0.4865198	0	1
外出からの帰宅時に手洗いをする	2714	0.4981577	0.5000887	0	1
規則正しい起床・就寝	2714	0.2376566	0.4257261	0	1
この中には1つもない	2714	0.1551216	0.3620873	0	1

Q42 あなたは普段、どのような形でストレスを解消しますか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

	サンプル数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
アルコール	2714	0.2623434	0.4399894	0	1
タバコ	2714	0.1842299	0.387743	0	1
食欲を満たす	2714	0.2450258	0.4301818	0	1
スポーツ・運動をする	2714	0.1938099	0.3953545	0	1
家族や友人との会話・電話	2714	0.3916728	0.4882141	0	1
趣味	2714	0.6142225	0.4868681	0	1
その他	2714	0.1215917	0.3268739	0	1
特になし	2714	0.1090641	0.3117771	0	1

(3) 介護負担感

- ・ 簡易版介護負担感指標(簡易版 Zarit 指標)の各項目についてまとめた。各負担感指標について、「よくそう思う」「いつもそう思う」の割合はだいたい 2 割前後であり、要介護者行動への困難、どうしていいかわからないという回答は 1 割程度であった。

あなたの介護負担感についてお伺いします。

Q19～Q26 介護を受けている方(要介護者)への意識として、あてはまるものをそれぞれ 1 つずつお答えください。

(回答は横の行ごとに 1 つずつ)

Q19 介護を受けている方の行動に対し困ってしまう

	サンプル	割合(%)
そう思わない	622	22.92
あまり思わない	516	19.01
時々そう思う	1,059	39.02
よくそう思う	339	12.49
いつもそう思う	178	6.56
Total	2,714	100

Q20 介護を受けている方のそばにいと腹がたつ

	サンプル	割合(%)
そう思わない	740	27.27
あまり思わない	664	24.47
時々そう思う	944	34.78
よくそう思う	242	8.92
いつもそう思う	124	4.57
Total	2,714	100

Q21 介護があるので、家族や友人と付き合いづらくなっている

	サンプル	割合(%)
そう思わない	653	24.06
あまり思わない	737	27.16
時々そう思う	785	28.92
よくそう思う	339	12.49
いつもそう思う	200	7.37
Total	2,714	100

Q22 介護を受けている方のそばにいと気がやすまらない

	サンプル	割合(%)
そう思わない	663	24.43
あまり思わない	650	23.95
時々そう思う	825	30.4
よくそう思う	312	11.5
いつもそう思う	264	9.73
Total	2,714	100

Q23 介護があるので、自分の社会参加の機会が減った

	サンプル	割合(%)
そう思わない	624	22.99
あまり思わない	808	29.77
時々そう思う	768	28.3
よくそう思う	322	11.86
いつもそう思う	192	7.07
Total	2,714	100

Q24 介護を受けている方が家にいるので、友達を自宅によびたくてもよべない

	サンプル	割合(%)
そう思わない	752	27.71
あまり思わない	727	26.79
時々そう思う	641	23.62
よくそう思う	309	11.39
いつもそう思う	285	10.5
Total	2,714	100

Q25 介護をだれかに任せたい

	サンプル	割合(%)
そう思わない	605	22.29
あまり思わない	695	25.61
時々そう思う	844	31.1
よくそう思う	305	11.24
いつもそう思う	265	9.76
Total	2,714	100

Q26 介護を受けている方に対して、どうしていいかわからない

	サンプル	割合(%)
そう思わない	758	27.93
あまり思わない	775	28.56
時々そう思う	807	29.73
よくそう思う	245	9.03
いつもそう思う	129	4.75
Total	2,714	100

(4) 要介護者の状態と介護保険の利用状況

- ・ 介護サービスの利用と意識では、質や量についての不満が大きいのがショートステイ及び訪問・通所リハビリであり、それぞれ 19%、14%が不満に感じている (Q16)。それに関連して、実際の利用回数と希望する利用回数のギャップが大きいものもこの2つである。ショートステイやリハビリについては、希望を満たす供給が行われていない可能性がある (Q15)。
- ・ 介護者本人の介護時間については、これまで行われてきた調査に比べて低下している。特に介護時間が1日12時間を越えるような過重な介護は5-6%に過ぎない (Q11)。また、配偶者や家族の協力も、これまでの調査に比べて多くなっている (Q12)。これは、同じインテージの調査サンプルで2001年、2002年に行った内閣府介護サービス価格研究会の調査と比べても言える傾向であるから、介護保険の普及・定着とともに要介護世帯の行動が変化してきた可能性が指摘できる。

Q6 あなたが介護をなさっている方(要介護者)は、何人いらっしゃいますか。

(回答は1つ)

	サンプル	割合(%)
1人	2,530	93.22
2人	175	6.45
3人	6	0.22
4人	3	0.11
Total	2,714	100

Q7 その方はどなたですか。複数いらっしゃる場合には、あてはまるすべての方をお答えください。

(回答はいくつでも)

	サンプル数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
あなたの配偶者	2714	0.0467944	0.2112371	0	1
あなた自身の親	2714	0.5147384	0.4998748	0	1
あなた自身の祖父母	2714	0.2008106	0.4006805	0	1
配偶者の親	2714	0.1532793	0.3603229	0	1
配偶者の祖父母	2714	0.0280029	0.1650116	0	1
その他	2714	0.0806927	0.2724128	0	1

Q8 介護を必要とされている方（要介護者）の性別をお答えください。

（回答は横の行ごとに1つずつ）

※要介護者が2人以上いらっしゃる方は、介護時間の長い方から順番にお答えください。

※要介護者が4人以上いらっしゃる方は、3人目までの方についてお答えください。

	サンプル	割合(%)
男	977	33.6
女	1930	66.4
Total	2907	100.0

Q9 介護を必要とされている方（要介護者）の年齢をお答えください。

（回答は1つ）

※要介護者が2人以上いらっしゃる方は、介護時間の長い方から順番にお答えください。

※要介護者が4人以上いらっしゃる方は、3人目までの方についてお答えください。

	サンプル	割合(%)
65歳未満	503	17.3
65-69歳	254	8.7
70-75歳	319	11.0
75-79歳	482	16.6
80-85歳	532	18.3
85-89歳	446	15.3
90-95歳	271	9.3
95-99歳	77	2.6
100歳以上	23	0.8
Total	2907	100.0

Q10 その方の現在の要介護度は次のどれにあてはまりますか。あてはまるものをお答えください。

（回答は横の行ごとに1つずつ）

※要介護者が2人以上いらっしゃる方は、介護時間の長い方から順番にお答えください。

※要介護者が4人以上いらっしゃる方は、3人目までの方についてお答えください。

	サンプル	割合(%)
自立	115	4.0
要支援	355	12.2
要介護1	523	18.0
要介護2	470	16.2
要介護3	416	14.3
要介護4	278	9.6
要介護5	269	9.3
認定受けず	481	16.5
Total	2907	100.0

Q11 現在、要介護者の方の介護に使う時間は1日あたり何時間ぐらいですか。ただし、睡眠時間は除いてください。

(回答はそれぞれ1つずつ)

(1) 総介護時間は、1日に

※主な介護者の方だけではなく、ホームヘルパーや他のご家族が介護した時間も合計してお答えください。

	総介護時間		うちあなたの介護時間	
	サンプル	割合(%)	サンプル	割合(%)
1時間未満	383	14.11	918	33.82
1時間	236	8.7	449	16.54
2時間	325	11.97	429	15.81
3時間	338	12.45	302	11.13
4時間	277	10.21	144	5.31
5時間	190	7	123	4.53
6時間	168	6.19	83	3.06
7時間	51	1.88	28	1.03
8時間	151	5.56	62	2.28
9時間	32	1.18	16	0.59
10時間	101	3.72	35	1.29
11時間	12	0.44	5	0.18
12時間	129	4.75	27	0.99
13時間	13	0.48	7	0.26
14時間	21	0.77	10	0.37
15時間	44	1.62	12	0.44
16時間	45	1.66	11	0.41
17時間	12	0.44	4	0.15
18時間	186	6.85	49	1.81
Total	2,714	100	2,714	100

Q12 ご家族の中で、あなたの他に実際に介護に協力している方はどなたですか。また、現在はしていないが是非介護に協力してほしい方はどなたですか。あてはまる方をすべてお答えください。

(回答はそれぞれいくつでも)

<実際に介護に協力している方>

	サンプル数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
あなたの配偶者	2714	0.3154016	0.4647613	0	1
あなたのお子様	2714	0.1116433	0.3149852	0	1
その他の同居のご家族	2714	0.4565217	0.4981978	0	1
同居していない親族	2714	0.119381	0.324296	0	1
誰もいない	2714	0.1820192	0.3859314	0	1

<是非協力してほしい方>

	サンプル数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
あなたの配偶者	2714	0.0817981	0.2741074	0	1
あなたのお子様	2714	0.0991157	0.2988724	0	1
その他の同居のご家族	2714	0.1551216	0.3620873	0	1
同居していない親族	2714	0.307664	0.4616117	0	1
誰もいない	2714	0.427045	0.4947401	0	1

Q13 あなたは何年ぐらい介護をなさっていますか。配偶者の方も介護をなさっている場合には、配偶者の方についてもお答えください。

(回答はそれぞれ1つずつ)

	<あなた>		<配偶者>	
	サンプル	割合(%)	サンプル	割合(%)
1年未満	306	11.27	109	12.73
1年	338	12.45	91	10.63
2年	481	17.72	149	17.41
3年	468	17.24	149	17.41
4年	205	7.55	57	6.66
5年	318	11.72	101	11.8
6年	93	3.43	25	2.92
7年	76	2.8	22	2.57
8年	57	2.1	20	2.34
9年	29	1.07	14	1.64
10年	152	5.6	48	5.61
11年	24	0.88	12	1.4
12年	21	0.77	11	1.29
13年	17	0.63	6	0.7
14年	9	0.33	1	0.12
15年	36	1.33	18	2.1
16年	5	0.18	2	0.23
17年	4	0.15	3	0.35
18年	16	0.59	3	0.35
19年	3	0.11		
20年	25	0.92	3	0.35
21年	3	0.11	1	0.12
22年	5	0.18	2	0.23
23年	0	0		
24年	1	0.04		
25年	6	0.22	3	0.35
26年	5	0.18	1	0.12
27年	2	0.07	1	0.12
28年	2	0.07	1	0.12
29年	3	0.11		
30年以上	4	0.15	3	0.35
Total	2,714	100	856	100

Q14 現在、特別養護老人ホームなどの施設に対して、入所の申請をしていますか。

(回答は1つ)

	サンプル	割合(%)
している	340	12.53
していない	2,374	87.47
Total	2,714	100

Q15 現在、ご利用の介護保険による介護サービスはどのようなものですか。それぞれのサービスについて、

(1) 実際に利用している時間/日数 (2) 利用を望んでいる時間/日数をお答えください。

(回答はそれぞれ1つずつ)

※利用していない・したくない場合には「0時間」または「0日」をお選びください。

※介護されている方が複数いらっしゃる場合は、合計時間または合計日数をお答えください。

<訪問介護サービス>

週単位	実際		希望	
	サンプル	割合(%)	サンプル	割合(%)
0時間	1,885	69.45	1,632	60.13
1時間以内	71	2.62	74	2.73
1時間	91	3.35	76	2.8
2時間	132	4.86	142	5.23
3時間	92	3.39	116	4.27
4時間	80	2.95	79	2.91
5時間	39	1.44	71	2.62
6時間	72	2.65	75	2.76
7時間	25	0.92	54	1.99
8時間	32	1.18	51	1.88
9時間	10	0.37	8	0.29
10時間	44	1.62	70	2.58
11時間	5	0.18	3	0.11
12時間	25	0.92	40	1.47
13時間	1	0.04	2	0.07
14時間	17	0.63	31	1.14
15時間	13	0.48	28	1.03
16時間	8	0.29	5	0.18
17時間	5	0.18	4	0.15
18時間	7	0.26	7	0.26
19時間	1	0.04	1	0.04
20時間	13	0.48	29	1.07
21時間	10	0.37	13	0.48
22時間			1	0.04
23時間			2	0.07
24時間	10	0.37	19	0.7
25時間	3	0.11	5	0.18
26時間	1	0.04	1	0.04
27時間	2	0.07	7	0.26
28時間	3	0.11	4	0.15
29時間				
30時間	3	0.11	13	0.48
31時間				
32時間			2	0.07
33時間			1	0.04
34時間	1	0.04	1	0.04
35時間	2	0.07	8	0.29
36時間	2	0.07	4	0.15
37時間				
38時間			1	0.04
39時間				
40時間以上	9	0.33	34	1.25
Total	2,714	100	2,714	100